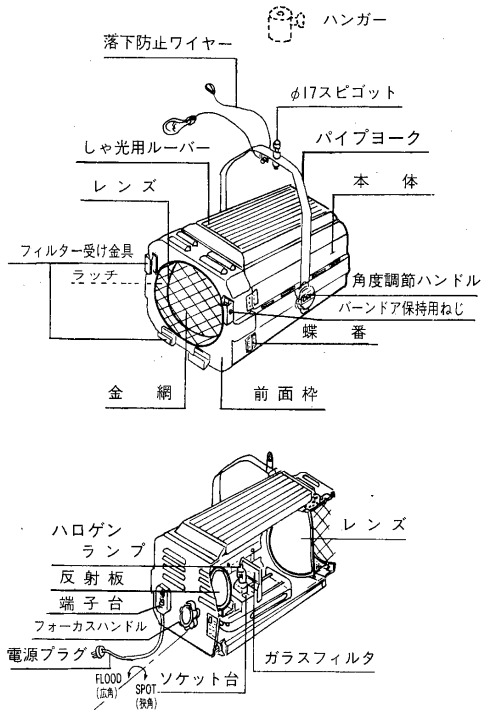


東芝舞台・スタジオ器具取扱説明書

QSL-S02

このたびは東芝舞台・スタジオ器具をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

各部のなまえ



器具の正しい使いかた

■配光調節のしかた

□器具後部のフォーカスハンドルを回してください。右へ回すとSPOT(狭角配光)が、左へ回すとFLOOD(広角配光)が得られます。

■照射方向の調節のしかた

- 器具側面のハンドルを左に回してゆるめ上下ティルトの照射位置を決めてください。
- ハンガーのスピゴット固定ねじを少しゆるめ左右パンの照射位置を決めてください。
- 調節が終了したら、ゆるめたハンドルやねじはもとのように締め込んでください。
- 器具点灯方向はランプ口金を上向きにしないでください。

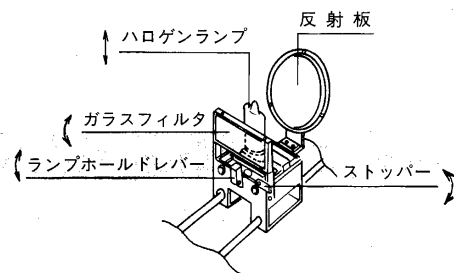
■ランプ交換のしかた

- 必ず電源プラグを抜いた状態でバードアのある時は閉めて行なってください。
- ①器具のラッチを外し前面枠を横に開いてください。
- ②ソケットのランプホルドレバーを前に倒しランプを外してください。
- ③ガラスフィルターのストッパーを外し前に倒してください。
- ④ランプを差し込んでください。

御注意1. ランプは素手で取り扱わないでください。きれいな乾いた手袋をはめて取り扱ってください。もし指紋や油などがランプに付いたときは、アルコールを浸したきれいな布でふいてください。汚れが付いたまま点灯しますと、汚れがランプに焼き付いてランプの強度が弱くなり破損の原因となります。

2. ランプは口金の根本まで確実に差し込んでください。確実に差し込まれていないと照射パターンのずれや接触不良を起す原因となります。

- ⑤ガラスフィルターを上げてもとのようにストッパーでクランプしてください。
- ⑥ランプホルドレバーを上げてランプ口金ピンを確実にクランプしてください。
- ⑦前面枠を閉めラッチで締めてください。



器具の取り付けかた

スピゴットの差し込みやその固定

- 器具はヨーク上部中央のφ17スピゴットをハンガー、または三脚に固定し使用してください。
- 器具をハンガーで吊り下げて使用するときには、必ず落下防止ワイヤーをパイプ等に掛けて使用してください。ねじの止め方が悪いときなど、落下の原因となり大変危険です。
- スピゴットはφ17ですので、これに合ったハンガー、三脚をお求めの上ご使用ください。

フィルター枠、バードアの取り付けかた

- カラーフィルター枠は、前面枠と受け金具の間に差し込んで使用してください。
- バードアは、器具の前面枠左右のねじ穴に付属の化粧ねじで締め込み固定してください。

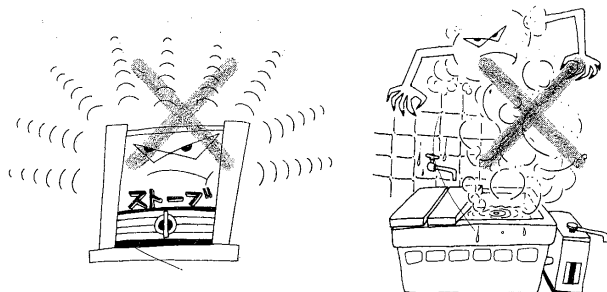
レンズ交換のしかた

- レンズには方向性があります。TOSHIBAを内側に、凸レンズ面を金鋼側にして、はめ込み、保持金具(リング状)で固定してください。
- レンズにはソフトパターン用とシャープパターン用の二種がありますので間違えないようにしてください。

特にご注意を

- ランプ交換のときは、必ず電源を切ってから行なってください。ランプ交換の際は、東芝ハロゲンランプ JPI00V1 KWBG とご指定ください。
- 点灯中または消灯直後の器具は高温になっていますので、器具に触れたり操作を行なうときは、手袋(軍手や保護具)等をして行なってください。
- 紙や布などを器具にかぶせたりルーバーを閉じるようなことはしないでください。器具の温度が異常に高くなり火災やランプ爆発、ガラス部品の破損などの事故のもとになります。
- 器具の改造やランプ、カラーフィルター、バンドア、リード線等の簡単な部品、以外の部品の交換は絶対におやめください。性能が十分に発揮できないばかりが大変危険です。

- この器具は、室内用で5°C~35°Cの範囲で設計してあります。暖房器具の近くなど温度の異常に高い場所、湯気の直接あたる場所、湿気の多い場所での使用は絶対におやめください。火災や感電、故障のもとになります。

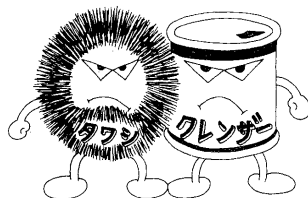


- この器具には、熱線反射フィルター(ガラスフィルター)を内蔵しています。フィルターをたおしての使用は絶対にやめてください。照射面が熱くなったりレンズの破損、短寿命、フィルターの早期劣化だけでなく大変危険です。
- 点灯中は、ランプ口金を上方向にしないでください。ランプ封止部温度が異常に高温になり寿命が短くなります。
- ⑤シリコンレンズの汚れは、ガソリンやクレゾールなどの溶剤で清掃しないでください。
- ⑦器具には、降水時の使用や、水を掛けたりビニール、布などをかぶせたりしないでください。

お手入れのしかた

- 器具のお手入れは、必ず電源を切ってから行なってください。

- 器具をいためますので、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。



- 器具は、ぬるま湯または、石けん水を浸した布をよくしぼってからふいてください。

- 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり腐食の原因となります。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店(工事店)またはお近くの東芝消費者ご相談センター、東芝サービスステーションにご相談ください。
 なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。



東芝電材株式会社 配電制御機器事業部 〒108 東京都港区三田1丁目4番28号(三田国際ビル16F)
 TEL(03) 457-6145